

# 学校図書館支援センター通信 NO.62

## 1月号

平成24年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



### 学校図書館活用 公開授業研究会

～昭和50年代から続く読書教育の歴史～



富貴島小学校では、昭和50年代から読書教育に取り組み、「読書生活の充実」を図っています。平成21年度より「一人ひとりの主体的な学びを育てる国語科学習」を研究テーマに掲げ、今年度はサブテーマを「読解力の育成を目指した言語活動の探究」として11月27日（火）に公開研究会が行われました。

- 1年生「むかしばなしまつりをひらこう」
- 2年生「さけ新発見ブックを作ろう」
- 3年生「学年の友だちが、ワクワクドキドキするようなそう作物語を作ろう」
- 4年生「今日のあなたの運勢は？ 故事成語占いをつくろう」
- 5年生「〇〇な君へ コラム集を作ろう」
- 6年生「卒業アルバムにのせる六年間の思い出短歌を作ろう」

全学年の指導案に「単元プランシート」と呼ばれる、A4サイズにまとめられた構成表があり、子どもに付けたい力やその手立てと、学習のゴールが明確に示されていました。

また、2年生の授業では「学校図書館ボランティア」と呼ばれる保護者で構成されたボランティアチームによる学習サポートが行われていました。子どもにとって難しい言葉の意味を教えたり、ちょっとした疑問に答えたりしていました。

どの学年も子どもたちが、図書を学習アイテムの一つとして当たり前のように活用している姿に、読書教育の長い歴史と、読書が日常生活の中にとけ込んで定着している様子が感じられました。



### 図書館の窓から

～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

若宮小は21クラスあり、出勤日には授業がぎっしりつまっています。そのため、放課後にならないと授業の準備や蔵書の管理、図書室の環境整備にあてる時間がなかなか取れません。

学校図書館員として1年目の昨年は、授業の準備や読み聞かせ等をするのに精一杯で、それ以外のことを考える余裕などなかなかありませんでした。

今年は、少しゆとりを持つことができ、ボランティアの方たちの存在に、目を向けることができるようになりました。

季節の掲示物製作、本の修繕、書庫の整理、蔵書点検・・・見事なチームワークで、何でもすばやくこなしてくださり、本当に頭の下がる思いです。

この恵まれた環境に感謝しながら、司書教諭を始めとする先生方や図書委員とも一致団結して、心に残る図書室作りに日々取り組んでいます。

市川市立若宮小学校 学校図書館員 井上 裕子



### 学校図書館コンピュータ新規導入についてNo.2



12月末から、学校コンピュータの入れ替えが始まりました。今後2月末まで約2ヶ月にわたって、順次入れ替えが行われます。

前号では、新しく導入される機器についてお知らせしましたので、今回はそれらについて写真付きで解説します。

鍵・ワイヤー



ノートパソコン



縦約6cmのバーコードリーダーです。取り外して蔵書点検ができます。通常のバーコードリーダーは今までの形状と変わりません



個人用1台と図書館管理用2台は、ノートパソコンになります。テンキーが付いています。

必ずワイヤーを付けて持ち出せないようにして、鍵を掛けてください。

今度の図書システムのトップ画面のキャラクターは、フクロウです。

右隣の画面は貸出返却用の画面です。



A3 白黒レーザープリンター



A4 カラープリンター



レーザープリンターは A3 まで印刷できます。

（白黒印刷です。）

カラープリンターは A4 まで印刷できます。複合機なので、ノートや資料を PDF ファイルでスキャンをすることができます。

調べ学習用パソコンは、デスクトップなので、現在あるパソコンとあまり変わりません。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

